

[フロントライナー] Frontliner

株式会社日本保健衛生協会
東京支社
サニタリー/ベストコントロール GP
発行責任者/東京支社サニタリー-G

スタッフの皆さま、日々の勤務お疲れ様です。
皆さまのお陰で職場は保たれております、有難う御座います。

トルコ・シリアで発生した大地震の悲惨な被害状況が連日報道されています。
私達が住んでいる日本はユーラシアプレート、北アメリカプレート、太平洋プレート、フィリピンプレートと呼ばれる4大プレートが交差する場所に位置しており、大地震の発生源となり得る活断層が100以上存在すると見られ、地球上で起こる地震の内、約20%が日本に影響を与える地震で有ると言われています。
不足の事態に備えて普段から準備をしておく事が被害を最小限に抑える方法だと言えるのでは無いでしょうか。

先日、私たちの職場に於いて階段の昇降をしている時につまずいてしまい、階段から転げ落ちて膝のお皿を割ってしまうと言う痛ましい事故が起こりました。
誰しもに起こり得るこの転倒災害ですが、少しでも確率を減らす為に私たちに何が出来るのでしょうか。

○身近に潜む転倒事故発生要因と対策について

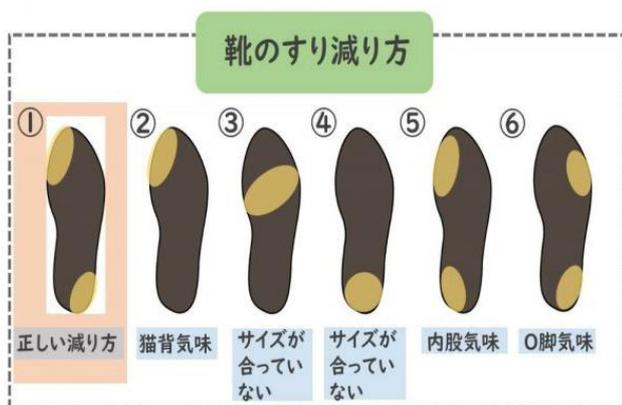
転倒事故原因その1 滑り

表面がつるつるしている床材や雨等で地面が濡れている状態だと転倒のリスクが高まります。
長年履き続けて靴底が擦り減っている靴だと更に滑り易くなってしまいます。

(チェックポイント)

①擦り減った靴を履いていませんか？

靴底のラバーが擦り減っていると滑り易くなってしまいます。定期的に新しい靴に履き替える様にしましょう。



靴底の擦り減り方によって、体の異常が察知できます。あなたの靴底はどのタイプ？

②作業靴に耐滑性はありますか？

プロテクティブスニーカー(JSAA 規格)や安全靴(JIS 規格)と呼ばれる靴には耐滑性が認定されている物が有ります。



JIS T8101 安全
CI/S/P/F1



JIS 規格の場合マークの横に F1 か F2 と記載
JSAA 規格の場合靴自体耐滑性の表示が有る

つまづき 転倒事故原因その2 躓き

ドアの枠や階段等の段差になっている場所では転倒のリスクが高まります。

サイズが合っていない靴や、つま先が長い靴や平坦な(つま先が真っすぐな)靴は躓きの原因となってしまいます。

(チェックポイント)

① サイズの合った靴を履いていますか？

サイズが合っていない靴を使用していると
疲れやすくなったり、足の指先が痛くなったり、
外反母趾になりやすくなります。

サイズが合っていない靴を使用する場合は
インソール等を使用する、靴紐やマジックテープを
しっかりと固定する等の対策を致しましょう。

② つま先の上がった靴を履いていますか？

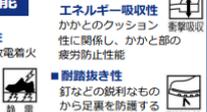
高齢者だけでなく、若年者でも疲労が蓄積すると歩行
時に足が上がらず、摺り足に近い歩行形態になって
躓きやすくなります。

靴底の構造によって、ある程度の効果を出すことが出
来るそうです。

皆さんは普段どのような靴を履いて作業をされていますか？

転倒予防のために適切な靴を選びましょう。

作業現場により指定がある現場も有りますが、
適切な靴を使用致しましょう。

<p>サイズ</p> <p>靴と足はフィットしていますか？</p> <p>足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります。</p>  <p>踵の当たりなし 甲部の締めり つま先の余裕 前後左右のずれなし</p>	<p>屈曲性</p> <p>親指から小指の付け根を適度に曲げられますか？</p> <p>靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、摺り足になりやすく、つまづきの原因となります。</p>  <p>屈曲しやすい 屈曲しにくい</p>
<p>重量バランス</p> <p>靴の前後の重さのバランスはとれていますか？</p> <p>靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりにくく、つまづきやすくなります。</p>  <p>つま先が重い</p>	<p>つま先部の高さ</p> <p>つま先から床面まで一定の高さがありますか？</p> <p>つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につまづきやすくなります。</p>  <p>つま先が高い つま先が低い</p>
<p>靴底の減り具合</p> <p>靴底がすり減っていませんか？</p> <p>靴底の減りが大きい靴は、滑りやすくなります</p>  <p>靴底の凹凸あり 靴底の凹凸が減少</p>	<p>耐滑性の有無</p> <p>靴の滑りにくさを確認していますか？</p> <p>耐滑性を有する靴は、以下の箇所で確認できます。</p> <p>■安全靴の場合 個装箱のJISマーク表示の近くに「F1」または「F2」の表示があるか確認してください。</p> <p>■プロスニーカーの場合 靴のべろ裏面の表示に、耐滑性のピクト表示があるか確認してください。</p>  <p>JIS JIS T 8101 安全靴 CIS R(F1)</p> <p>耐滑性</p>
<p>その他の性能</p> <p>■かかと部の衝撃エネルギー吸収性 かかとのクッション性に関係し、かかと部の疲労防止性能</p> <p>■耐踏抜き性 釘などの鋭利なものから足裏を防護する性能</p>  <p>衝撃吸収 耐踏抜き性</p> <p>■静電気帯電防止性 静電気帯電による放電着火の防止と低電圧での靴底からの感電防止性能</p>  <p>静電</p>	

(厚生労働省 HP より転載)

■ 作業中に重量物を取り扱うことがあるか

重量物を取り扱う場合、安全靴を着用してください



■ 作業中や作業後に水を取り扱うことがあるか

水を取り扱う場合、靴の表面素材は人工皮革製・ゴム製が最適です



(厚生労働省 HP より転載)